

## 資料提供（広報をお願いします）

資料提供	
平成29年5月17日	
担当課	鳥取県産業技術センター 機械素材研究所
担当者	副所長 鈴木（スズキ） 計測制御科 吉田（ヨシダ） 機械システム科 佐藤（サトウ）
電話	0859-37-1811

### 平成29年度 次世代ものづくり人材育成講座の開催について（参加者募集）

地方独立行政法人鳥取県産業技術センター機械素材研究所（所長 草野 浩幸 ｸﾗﾉ ﾋﾛﾂｷ）では、多くの産業の基盤技術でもあり、ものづくりに欠かせない『機械加工技術』、『製品設計評価技術』、『機械計測技術』、『機械制御技術』及び『材料評価技術』に対応できる技術者の育成を目指して、講座選択制による技術講習を開催します。

本講習は、日時・講座内容を企業の要望に合わせて実施するものです。

#### 記

- 1 対象者 県内に事業所を有する企業等の技術者
- 2 場所 地方独立行政法人鳥取県産業技術センター機械素材研究所  
(米子市日下1247)  
(電話：0859-37-1811 (代表))
- 3 内容 『機械加工技術』『製品設計評価技術』『機械計測技術』『機械制御技術』及び『材料評価技術』の5分野に関する合計19講座の座学及び実習

講座内容の詳細については、別紙の「講座内容一覧」をご覧ください。

#### 〔実習機器の例〕

高速マシニングセンター、製品設計支援シミュレーション装置、産業用ロボット、高精度三次元測定機、金属顕微鏡 等

- 4 開催期間及び参加人数  
参加講座ごとに担当研究員と打ち合わせのうえ、決定  
期間の目安は半日間～1日間程度
- 5 受講料 1講座 3,000円 /人
- 6 申し込み・問い合わせ先  
(地独) 鳥取県産業技術センター機械素材研究所  
担当：吉田（計測制御科） / 佐藤（機械システム科）  
電話 : 0859-37-1811  
ファクシミリ : 0859-37-1823  
電子メール : satou-ta@pref.tottori.lg.jp (佐藤)

平成29年度 次世代ものづくり人材育成講座 講座内容一覧

平成29年5月10日現在

分野	講座名 / 講座内容	担当者
機械加工技術	「NCプログラミング実習」 NCプログラミングの基本構成からマクロプログラムの基礎までを習得します。	佐藤 加藤 野嶋
	「CAD/CAM実習」 CADソフトによる加工形状のモデリング方法とCAMソフトによる最適加工パスの作成方法について一連の流れを習得します。	
	「ワイヤーカット放電加工」 ワイヤーカット放電加工機の基本操作並びに放電加工に必要な基本知識について習得します。	
	「フライス加工」 NCフライス盤またはマシニングセンターの基本操作並びにフライス加工に必要な基本知識について習得します。	
	「旋削加工」 汎用旋盤また複合旋盤の基本操作並びに旋削加工に必要な基本知識について習得します。	
	「研削加工」 平面研削盤の基礎操作並びに研削加工に必要な基本知識について習得します。	
製品設計評価技術	「製品設計・シミュレーション評価技術」 有限要素法の理論的な考え方と強度シミュレーション手法について習得します。	佐藤 野嶋 木下 吉田
機械計測技術	「機械計測概論」 機械計測を行う上での基本的な考え方および概要について説明します。	木村 吉田 新見
	「測定具使用上のノウハウと勘所」 ノギスやマイクロメーターといった現場で使用する測定具について、その取り扱いや注意するポイントについて説明し、使用の勘所を習得します。	
	「機械製図と幾何公差および表面粗さ表記内容の習得」 機械製図における、図面の読み方・描き方や幾何公差および表面粗さについて図面表記とその解釈について習得します。	
	「三次元測定実習」 三次元測定機の原理・機能および座標測定による高精度寸法測定手法について習得します。	
	「ISO9000に係るトレーサビリティと測定具の管理・校正」 ISO9000で要求されている測定機器の管理について、その要求事項の解説および具体的な管理手順や校正方法について説明します。	
機械制御技術	「シーケンス制御基礎」 シーケンス制御とこれに用いられる機器についての基礎知識習得と操作実習を行います。	新見 吉田
	「PLCによるシーケンス制御」 PLC(Programmable Logic Controller)を用いたシーケンス制御について実習を通して習得します。	
	「産業用ロボット 基礎編」 産業用ロボットの構造や種類、安全対策などの基礎的な知識を習得します。	
	「産業用ロボット 操作編」 産業用ロボットのティーチング、プログラミングなどの基本操作を実機による実習を通じて習得します。	
材料評価技術	「材料の強度評価」 各種材料の強度試験の方法について、実習を通して習得します。	松田 塚根 野嶋
	「組織観察および硬さ試験方法」 鋼のマイクロ組織観察（試料作成、鏡面研磨、エッチング）および硬さ試験の方法について、実習を通して習得します。	
	「鋼の熱処理」 鋼の組織と鉄-炭素二元系状態図や、焼入れ焼戻しといった一般的な熱処理方法など、熱処理の基本について説明します。	